

## 柘原地区郷土伝統行事「おろごめ」 子どもたちの勇姿に地域が賑わう



1／激しい戦いの様子 2／おろごめの前、午前4時ごろにたいまつを持って山に安全祈願に行くの様子 3／最後は笑顔で記念撮影

6月3日（日）、郷土伝統行事「おろごめ」が柘原地区公民館下の海岸で行われました。早朝から集まった子供たちは、上野台地で山の神様に安全祈願した後、海岸へ移動。小学6年生の親頭役が、子頭役のほかの子どもたちを砂浜に掘った「おろ」と呼ばれる砂の囲いから引きずり出す激しい戦いが繰り広げられました。おろごめは、藩政時代に武士が野生の子馬を囲い、おろ（谷）に追い込む姿が勇壮だったことから、子供たちの健やかな成長を願い行われているものです。今回は母が柘原出身で現在カナダ在住のロウ哲久さん・賢生さん兄弟も参加し、また地域の方々も大勢応援に駆けつけ、大変賑わいました。

6月13日（水）、第1弾垂水日帰りバスツアーを開催し、32人が参加しました。本ツアーは、明治維新150周年および垂水市制施行60周年を記念し、垂水市の歴史・文化・食をテーマに年5回のツアーを実施するものです。今回は、葛迫製油所工場見学、東京音楽隊による瀬戸口藤吉翁のふるさとコンサートの鑑賞、また、江洋館ではNHK大河ドラマ「西郷どん」で流れる江之島と桜島をバックに、本市の特産品を使った夕食をご堪能いただき、大変好評でした。



明治維新150周年記念  
垂水日帰りバスツアー

## 第45回関東垂水会 故郷の交流を深める



5月27日（日）、第45回関東垂水会総会・懇親会が東京都で開催され、垂水市出身者やゆかりの方々で賑わいました。垂水市からは尾脇市長はじめ市議会議員を含め10人が招待され、交流を深めました。また会場では、垂水市特産品の温泉水、ブリ、カンパチ、つけあげ、焼酎など、故郷の味が振る舞われました。また、会場ではふるさと納税・広報誌定期購読のPRを行い、多くの方々にご賛同いただきました。本市では、今後も関東垂水会の方々と連携し、垂水市の魅力を広めてまいります。

## 垂水おもてなし 少女・少年隊結団式



5月26日（土）、垂水おもてなし少女・少年隊結団式が垂水市市民館で開催されました。この活動は、ボランティア活動や地域行事、研修会への参加を通して、垂水の市勢・自然・観光・文化・歴史などを学び、おもてなしの心を持つことや、また自分から進んで物事に取り組む態度や思いやりの心を持つことを目的に行われています。今年度の隊員は、垂水市内の小・中・高校生合わせて23名です。団長の本田喜久さん（垂水高校3年生）を中心として、これから元気に活動を行っていきます。

6月1日（金）、垂水市議会第2回定例会において、全国市議会議長会より堀添國尚議員、池之上誠議員、感王寺耕造議員の3名に対し、市議会議員として市政の発展に尽くされたことに対する一般表彰が贈られました。堀添議員、池之上議員については15年、感王寺議員については10年、地域のために尽力されております。皆様のこれまでのご活躍に敬意を表しますとともに、今後ますますのご躍進をお祈りいたします。受賞おめでとうございます。



全国市議会議長会  
市政発展の貢献に表彰